



詳細はコチラ!



特集 真に子どもの声を聴く、その先にある社会

「こどもまんなか」社会の実現は、子どもの権利を中核とした社会をつくることにつながる。そのために求められることのひとつとして、「子どもの声を聴く」ことがあげられる。ただし、かたちだけ声を聴くのではなく、真に聴くこと、そして難しい状況におかれた子どもも含めすべての子どもが声をあげられる環境をつくり、その声を活かすことが求められる。そのために、必要な大人の姿勢や視点を確認する。

基調論文 「こどもまんなか」社会は「子どもの権利」を真ん中においた社会

大谷 美紀子 弁護士、国連「子どもの権利委員会」委員

論文 子どもの主体性を育む保育・教育とは

無藤 隆 白梅学園大学名誉教授

レポート

I 学校現場で求められる子どもの声を聴くこと

沖田 昌紀
一宮市教育委員会スクールソーシャルワーカー

II 子どもの声を聴き、どう措置し、支援するか —児童相談所における「意見聴取等措置」を通して

林 美恵子
大阪府東大阪子ども家庭センター 所長

III 声を聴くことが難しい子ども(障害児)の 思いをどうくみ取り支援するか

諫山 徹太郎
社会福祉法人訪問の家 多機能型拠点「郷」施設長

IV インタビュー 真に自分の思いが言えるように伴走する —社会的養護当事者として子どもの声を聴く

田邊 紀華
一般社団法人 Masterpiece 若者サポーター
〔聞き手〕 編集部

座談会 子どもの声を聴くことで見えたこと —連載「My Voice, My Life」の9年間で踏まえて

山縣 文治 関西大学人間健康学部 教授 (進行兼)

林 浩康 日本女子大学人間社会学部 教授

谷口 純世 愛知淑徳大学福祉貢献学部 教授

長瀬 正子 佛教大学社会学部准 教授

定期購読受付中

定期購読の方は送料無料

グラフ21

自治体間連携による 地域を超えた 施設のかたち

静岡県
社会福祉法人梓友会
エクレンシア南伊豆

ウォッチング2024

目立ちたくない、 横並びでいたい、 Z世代の働きやすさとは

風間 大介氏
金沢大学融合研究域 教授
『先生、どうか皆の前で
ほめないで下さい』 著者

お申込みは、下記へ

全社協出版部受注センター

受注専用 ☎049-257-1080 ✉zenshakyo-s@shakyo.or.jp

社会福祉法 全国社会福祉協議会 出版部

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

福祉関係図書の検索・注文ができるホームページ

福祉の本出版目録



▶▶ <https://www.fukushinohon.gr.jp>



注文申込書

●太枠内にご記入のうえFAXにてお申込みください

FAX : 049-257-3111

2024年度定期購読は
コチラから▶

月刊福祉 定期購読

購読開始月

2024年5月号 ~ 2025年4月号

冊数

毎月

冊

<雑誌価格改定のお知らせ>令和6年5月号(4月8日刊行)から 定価1,170円(税込)に改定いたしました。※定期購読(12冊)は14,040円(税・送料込)

個別・バックナンバー購入

年 月号 冊

年 月号 冊

年 月号 冊

年 月号 冊

▶定期購読もしくは10冊以上のご購入は送料無料です(バックナンバーのみのご注文の場合、送料は300円となります)。

お申込み受付から約1週間で、ご購入料請求書・振込用紙をお送りします。内容をご確認のうえ購読料をお支払いください。入金確認後、購読誌の発送を開始いたします。

送付・請求先	ご住所	〒 -		
	フリガナ	電話番号 () -		
	お名前	幹 旋	05000028	兵庫県社会福祉協議会

※ご記入の個人情報は、次の目的の範囲内でのみ使用させていただきます。⇒注文確認/商品発送/代金請求/入金確認/新刊案内/商品満足度調査/継続購読案内